

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(3) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	1,221,280	0	0	1,221,280
小 計	1,221,280	0	0	1,221,280
合 計	1,221,280	0	0	1,221,280

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	1,221,280	0	0	1,221,280
小 計	1,221,280	0	0	1,221,280
合 計	1,221,280	0	0	1,221,280

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
器具備品	6,692,700	6,642,298	50,402
ソフトウェア	5,632,000	5,070,400	561,600
小 計	12,324,700	11,712,698	612,002
合 計	12,324,700	11,712,698	612,002